

新しいまちづくりの指針 「第5次津島市総合計画」がスタートします

「第5次津島市総合計画」はこれからの10年間における総合的かつ計画的なまちづくりを図るための市の最上位計画です。総合計画の概要は以下のとおりですが、本編については、令和4年2月末ごろに、市役所企画政策課、神守支所、神島田連絡所や市ホームページで閲覧することができます。

問合 企画政策課まちづくり戦略G ☎55-9465

◆ 総合計画とは

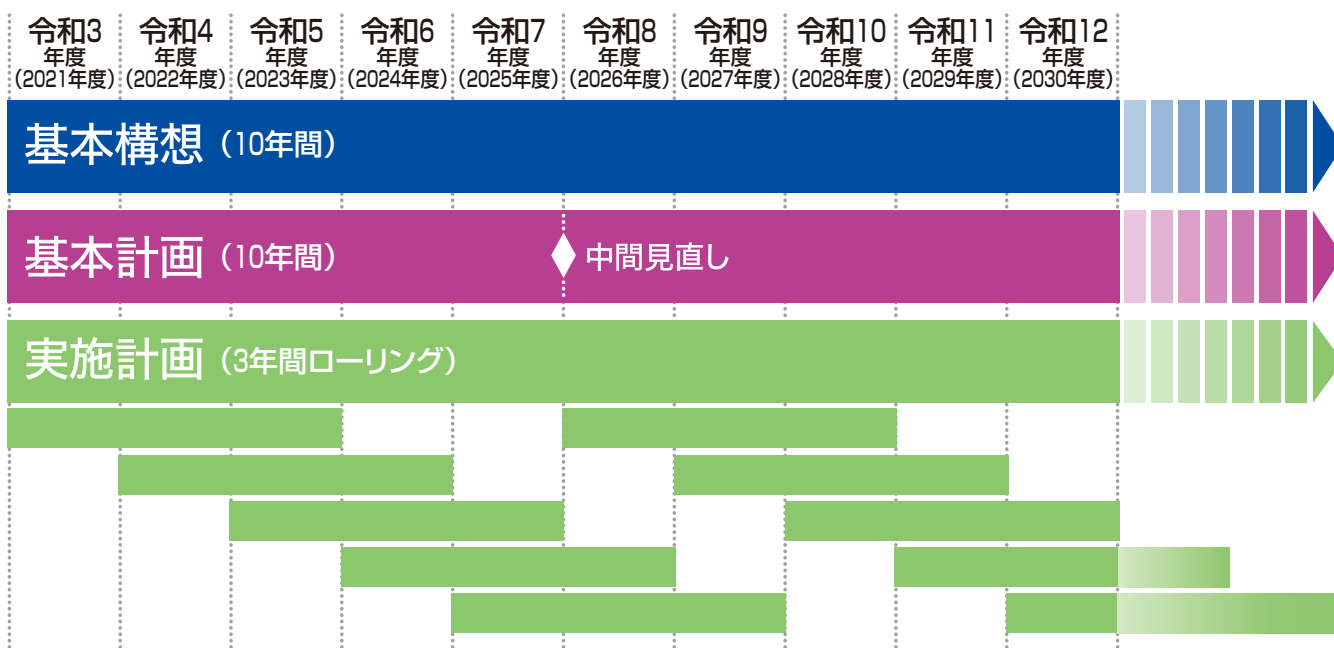
総合計画は、私たちのまち津島の将来像やまちづくりの指針と目標、それを具体化するための施策を定めており、本市がまちづくりを市民とともに進めていくための最上位計画に位置付けられます。

本計画の特色として、これからの10年間で特に取り組むべき重点施策・テーマである「子どもを産み育てやすい環境をつくる」「まちの活力を高め、人の流れをつくる」「支えあい、安心して暮らせる地域をつくる」を重点戦略として掲げ、これらを、津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略として位置付けています。

今後、この戦略による施策を重点的に実施することにより、地方創生のめざす「将来にわたって活力ある地域社会の実現」に取り組んでいきます。

◆ 計画の構成と期間

総合計画は、「基本構想」「基本計画」および「実施計画」で構成します。



◆ 将来都市像

津島は、歴史・文化、自然環境、人と人の関わりといったこれまで培ってきたまちの資源を持っています。

こうしたまちの資源を力として、まちに住む、まちで働く、まちを訪れるなど、津島と関わりをもって暮らす多様な人々をつなぎ、一人ひとりが主人公になれるまちづくりを進めることで、まちに関わるすべての人の思いが詰まった、共感できるまちをめざします。津島に関わる人の思いが、そこに暮らす人の望む多様な暮らしの実現につながります。

まちの未来は、人と人、人とまちとのつながりが生み出す多様な暮らしの先にあります。津島と関わり暮らしていることを誇れるまちを一緒に育て、誰もが住んでみたい、住んでよかった、そして幸せを実感することができる魅力あるまちを未来につないでいきましょう。



◆ まちづくりの目標

子育てしやすいまち



子育てニーズに対応した子育てで支援や子育てサービスの提供を行い、子育てをする家庭を支えとともに、まちの未来を担う人材となる子どもの教育を充実させ、家庭・地域・学校が連携して地域全体で子どもの成長を支える環境を整えます。

活力あるまち



地域産業の活性化や集約型都市構造への転換による都市機能・定住環境の充実を図るとともに、歴史・文化をはじめとする誇るべき地域資源を生かした魅力の発信を通じて、地域への人の流れをつくります。

また、若者や女性が地域で活躍できる場を整えることによって、若い世代の地元回帰や様々な形で市と関わる人を積極的に受け入れる環境を整えます。

安心して暮らせるまち



高齢者や要支援者の暮らしを支え、災害に対応することができるまちの仕組みを構築・維持するとともに、コミュニティ機能の強化を通じて地域力を高め、高齢化の進展への対応や地域課題の解決を図ります。

また、暮らしを支える地域の環境の保全や環境負荷の低減により、まちの持続性を高めます。

◆ 将来人口

**令和12年(2030年)
56,600人～59,500人を展望**

本市の将来人口を推計すると、減少傾向が続くことが予想されますが、子育て環境の充実や雇用の場の確保をはじめ、住宅・居住環境の整備、魅力あるまちづくりなど、各種施策を推進することで、まちの魅力を高め、交流人口や関係人口の増加や、市民が住み続けたいと感じるまちづくりを進めるとともに、他地域から転入する人を増やし、人口減少のスピードの緩和を図ります。

